

特定非営利活動法人チーム杉劇

令和4年度事業報告

地域に根ざす NPO 法人として、平成 25 年に立ち上げた当法人は、平成 27 年度から第 3 期の磯子区民文化センター（杉田劇場）の指定管理者に共同事業体の一員として参画し、令和 2 年度からの第 4 期の指定管理期間についても、引き続き共同事業体の一員として参画しています。

第 4 期指定管理期間の 3 年度となる令和 4 年度は、コロナによる制限が徐々に緩和される中で、これまでの経験を活かし、磯子区における芸術文化の発信や地域活動・文化活動の支援など定款に定める事業を中心に磯子区民文化センター杉田劇場の指定管理業務（運営・事業）にあたりました。

また、チーム杉劇が「磯子区民が杉田劇場に求めるニーズを実現する」という役割を果たすことができているかなど、チーム杉劇の理事会で意見交換を始めています。

杉劇らしい事業

①杉田劇場を中心とした芸術文化の創造および発信事業

- ・障がいのあるなしにかかわらず、あらゆる人が文化に触れる企画「杉劇アート de にこにこプロジェクト」の継続実施
- ・朗読歌劇「椿姫」18 歳以下各回 52 名招待（子供文化芸術活動支援事業）
- ・杉劇リコーダーず定期演奏会（with 荒川知子とファミリーアンサンブル）

②地域活動、芸術文化活動の支援事業

- ・杉劇アート体験塾と横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラムの実施回数増

③芸術文化資源の収集と活用事業

- ・地域探索を含む磯子文化資源発掘隊の開催回数増

主な課題

①地域の芸術文化拠点とネットワークづくり

- ・コロナ禍の影響もあり、杉劇の各担当者が地域に出ることができていない。
- ・地域支援が杉田地区に偏在しがち。

②夜間の会議室利用の減少で貸館利用率の目標未達成

1 施設の概要

施設名	横浜市磯子区民文化センター
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目1番1号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上30階建ての、南棟1階および4階から7階部分の一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	延床面積 2,999.72 m ²
開館日	平成17年2月5日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
代表団体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 基本的な方針

【総合的な方針】

これまで築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、文化の力で地域の活力を向上させ
「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献する

【第4期指定管理期間中の取組】

多様な区民の社会参画の機会創出
文化的コモンズ形成

【令和4年度の業務の方針及び達成目標】

新型コロナウイルス感染症の再拡大等があっても、地域の文化活動の拠点としての機能を発揮できる、
「with コロナ」社会に対応した体制を構築していきます。

- ・社会的包摂の視点を踏まえつつ、幅広い方々が音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供する
◇達成目標：「杉劇アート de にこにこプロジェクト」を開催する
- ・多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものとする
◇達成目標：「杉劇リコーダーず」「杉劇☆歌劇団」「地元発掘映像交流プロジェクト」の活動を通じて、

地域のコミュニティーの間のつながりを強化する

4 令和4年度事業報告

【全体振り返り】

第4期指定管理期間の3年目となる本年は、新型コロナによる直接的な影響が生じてから3年目の年でもありました。年度前半は、様々な感染防止策が必要であり、施設の利用制限や利用者・来場者の活動傾向にも大きな影響がでている状況でした。年度後半に入ると、直接的な利用制限はだいぶ緩和され、「with コロナ」でありつつも、コロナ以前と同様の活動ができる環境が整ってきました。

利用者・来場者の活動状況においても積極性が回復してきたように感じられますが、それと同時に、3年間の制限を経て、変化が固定化してしまっている部分もあります。具体例を挙げれば、ホールの土日祝日の利用率はコロナ禍以前と同程度まで回復しており、利用料金収入も当初予算額を上回る2000万円超となっています。他方で、会議室の夜間区分の利用率やギャラリーの利用件数は低下したままとなっています。これらは、利用者の活動習慣や方向性そのものに変化が生じていると考えられます。

このような状況下において、当館の事業展開においても、入場者・参加者の安心安全と、アートプログラムとして最適なパフォーマンスとが両立できる形での事業実施に努めました。年度前半の「杉劇ひばりの日」では、制限の残る中、前年度を上回る協賛金を集めるとともに、ホール・ギャラリーイベントには、多くの方にご来場いただきました。さらに、年度の後半の事業実施においては、効率的な感染対策を実施しつつ、コロナ以前と同程度以上の規模で「朗読歌劇「椿姫」～不滅の恋～」や「杉劇アート de にこにこプロジェクト」の各プログラムを実施することができました。

また、地域の様々なコミュニティーとのネットワークを強化・再確認するという意味では、「いそご文化資源発掘隊」では、定例のリハーサル室でのプログラムだけでなく、ホールでの開催や区内各所をめぐる回など、地域の文化資源を多様な形で取り上げ、「杉劇リコーダーズ」の活動では杉田八幡宮の奉納演舞に出演。「つながる杉田～みんなで花火！～」や「杉劇夏まつり2022」などの企画では、多くの地域の組織や団体にご協力いただけるなど、事業を通じて地域との多彩で重層的な連携を行いました。

来年度は、政府の方針を踏まえれば、さらなる規制の緩和が進み、コロナ以前と同様か、それ以上の成果を求められる状況が予想されます。基本に立ち返って、提案書等の「計画」を着実に実施しながらも、社会状況の変化に応じて、区民・市民に寄り添った柔軟な施設運営を行っていきます。

(1) 事業計画

ア 使命1：磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらずなく幅広い属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

◇◇あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

<p>1 障がいのあるなしに関わらず、あらゆる人が文化に触れることで、共感し、笑顔になる企画「杉劇アート de にこにこプロジェクト」を開催します。</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 <u>「杉劇アート de にこにこプロジェクト」を実施しました。</u></p> <p>■杉劇にこにこ見本市「カラフルワールド」 令和5年2月3日～5日 入場者 211名</p> <p>■杉劇にこにこ見本市番外編「麻美フィンランドチャレンジ出発式」 令和5年2月26日 入場者 55名</p> <p>■杉田劇場にこにこ冬まつりライブ 2023 令和5年2月5日 入場者 226名</p> <p>■杉劇にこにこ冬まつりステージ 杉劇☆歌劇団本公演 2023『RUNWAY』 令和5年2月12日 入場者 123名</p> <p>■地元発掘映像交流プロジェクト 空から見る ISOGO —Drone in my city 令和4年12月6日・令和5年2月28日 撮影</p> <p>■杉劇にこにこアート体験塾</p> <p>①横浜夢座 読劇「真昼の夕焼け」 令和4年9月27日 入場者 530名(区内の5小学校の6年生)</p> <p>②アウトリーチ公演:雅楽 令和4年12月16日 53名(さわの里小学校6年生)</p> <p>■いっしょに歌おうプロジェクト にこにこ歌おうワー</p>
--	--

<p>2 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます</p>	<p>クシヨップ 令和5年3月12日 参加者27名</p> <p>2 「杉劇アート体験塾」を2回、「横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム」を6校で実施しました(内1校は、学校からの直接の依頼で実施)。 また、「withコロナ」の中で、学校の文化活動を促進するため施設を提供しました。</p> <p>■杉劇にこにこアート体験塾(前掲)</p> <p>①横浜夢座 読劇「真昼の夕焼け」 令和4年9月27日 入場者530名(区内の5小学校の6年生)</p> <p>②アウトリーチ公演:雅楽 令和4年12月16日 53名(さわの里小学校6年生)</p> <p>■「学校プログラム」 6校 計561名参加 横浜市芸術文化教育プラットフォーム分 5校</p> <p>①汐見台小学校(箏) 6年生 123名 ②洋光台第二小学校(能) 5年生 78名 ③梅林小学校(箏) 5年生 70名 ④さわの里小学校(創作アート) 1年生50名(連携幼稚園・保育園 50名) ⑤浜小学校(箏) 4年生 136名</p> <p>学校からの直接の依頼分 1校</p> <p>⑥屏風浦小学校(パントマイム) 4年生 104名</p> <p>■学校連携(根岸中学校音楽部への指導・サポート、および、NHKコンクール用の収録のため会場を提供) 令和4年7月25日 参加者15名</p>
<p>3 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくります</p>	<p>3 文化芸術を切り口にした施設と地域の交流行事として、「杉劇ひばりの日2022」「杉劇夏まつり」「杉田劇場にこにこ冬まつりライブ2023」「杉劇にこにこ冬まつりステージ」を開催しました。 また、地域の施設や団体との連携・交流企画として「つながる杉田～みんなで花火!～」と「杉田@賑わい会パッ</p>

<p>4 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします。</p>	<p>クステージツアー」を開催しました。</p> <p>■「杉劇ひばりの日 2022」</p> <p>①ホール公演 ひばり～未来へ～ 令和4年6月23日 入場者 212名</p> <p>②ギャラリー展 磯子が生んだ「昭和の歌姫」少女ひばりの足跡 令和4年6月22日～28日 入場者 436名</p> <p>■「杉劇夏まつり 2022」 令和4年8月27日 入場者 745名 (ギャラリーワークショップ ダンボールアート～親子でつくろう おもしろいカタチ！～ 令和4年8月25日～27日 参加者 36名)</p> <p>■トーク&コンサート「横浜 そして 美空ひばり」 (「杉劇ひばりの日」協力事業) 令和4年10月17日 入場者数 247名</p> <p>■「杉田劇場にこにこ冬まつりライブ 2023」 令和5年2月5日 入場者 226名</p> <p>■「杉劇にこにこ冬まつりステージ 杉劇☆歌劇団本公演 2023『RUNWAY』」 令和5年2月12日 入場者 123名</p> <p>■「つながる杉田～みんなで花火！～」 令和4年8月10日～13日 入場者 53名</p> <p>■「杉田@賑わい会バックステージツアー」 令和4年9月16日 入場者 19名</p> <p>4 施設の特性を生かしたクラシック・ジャズのコンサート、朗読歌劇など多様な企画公演を開催しました。「横浜音祭り2022」と連携して、「横浜音祭り2022共催 硬派弦楽アンサンブル石田組」と「横浜18区コンサート [磯子区]」を開催しました。</p> <p>■気仙沼音楽復興支援杉劇クリスマスジャズライブ 2022</p>
---	--

Mako`s Party Christmas Jazz Live

令和4年12月10日 189名

■野村道子プロデュース 朗読歌劇「椿姫」～不滅の恋～(文化庁 子供文化芸術活動支援事業助成)

令和5年1月14日～15日 入場者 737名(4回公演)

■石田泰尚 ヴァイオリン・リサイタル2022 “注目のスーパー・ホルニスト 福川伸陽を迎えて”〔共催公演〕

令和4年6月4日 入場者 272名

■魅惑のスペイン音楽～アランフェス～ 「ギター女王」マリア・エステル・グスマンを迎えて with Yoko Takaki〔共催公演〕

令和4年10月8日 入場者 120名

■♪音の自然食♪ 純正律音楽コンサート〔協力公演〕

令和4年5月21日 入場者 100名

令和4年12月22日 入場者 120名

■そのまま、このまま、ありのままに！2022 ～ピアノとピアノと即興セッション～〔協力公演〕

令和4年6月10日 入場者数 270名

■ロマンティックピアノ Vol.6 歌のないオペラって?! モーツァルト「魔法の笛」〔協力公演〕

令和4年6月18日 入場者数 150名

■ヴァイオリンで聴く往年の映画音楽(会場:リハーサル室)〔協力公演〕

令和4年7月14日 入場者数 50名

■おん・ぶん・きょうスペシャルコンサート2022 音楽談義と華麗なる協演～世界を牽引するスーパーピアニスト 海老彰子さんとともに～〔協力公演〕

令和4年12月17日 入場者数 180名

■青年芸術家協会プレゼント 山田たかお 二代目会長

	<p>就任記念公演 サンタが磯子にやって来る!!〔協力公演〕 令和4年12月22日 入場者数160名</p> <p>■スクランブル・ダンス公演 in 横浜「メタモルフォーゼ」〔協力公演〕 令和5年2月4日 入場者130名</p> <p>■横浜音祭り2022共催 硬派弦楽アンサンブル石田組〔共催公演〕 令和4年9月24日 入場者559名(2回公演)</p> <p>■横浜18区コンサート〔磯子区〕〔協力公演〕 令和4年10月17日 入場者249名</p>
--	---

イ 使命2：芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げることに貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

◇◇すべての区民が文化の担い手一人ひとりが生きる力を育む場になります

<p>【事業計画】</p> <p>1 「with コロナ」社会に適応した、新しい形の地域文化の担い手づくりに寄与します</p> <p>2 杉田劇場発、「杉劇リコーダーズ」が地域の課題解決のために活動します</p> <p>3 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をと</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 「地域文化コーディネーター」として活動を予定している特定非営利活動法人都筑文化芸術協会のスタッフをインターンシップとして受け入れるとともに、同会が主催する「横浜北部文化フォーラム～地域からつくりあげる文化を目指して～」において、「文化が地域をつなぐ活動について」をテーマに、中村館長が講演をしました。</p> <p>また、前掲の「杉劇にここにこ見本市番外編[麻美フィンランドチャレンジ出発式]」においては、当館主催の地域文化イベント出身者が、アーティスト側のコーディネーターとしてフィンランドでの個展の開催に参画しました。</p> <p>2 「杉劇リコーダーズ 2022」を、新型コロナウイルスの状況を踏まえながら、施設内にとどまらない多様な活動を展開しました。</p> <p>■ワークショップ 令和4年7月27日～令和5年3月24日 参加者42名</p> <p>■<u>第12回定期演奏会</u> <u>令和5年3月25日 入場者200名</u></p> <p>■演奏・交流活動 令和4年8月27日 杉田八幡宮奉納演舞 令和4年10月2日 リコーダーフェスティバル 令和4年10月14日 新潟県佐渡島佐渡両津中学校 令和5年2月4日 スクランブル・ダンス公演 in 横浜「メタモルフォーゼ」 令和5年3月4日 横浜北部文化フォーラム</p> <p>3 杉田劇場で生まれた「劇団横綱チュチュ」の活動について、会場提供や広報活動など、公演開催に向けたサ</p>
--	--

<p>に創ります</p> <p>4 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します。</p>	<p>ポートしました。</p> <p>なお、「劇団糸」については、新型コロナの感染拡大状況を勘案し公演開催を取りやめました。</p> <p>■劇団横綱チュチュ 第19回本公演 令和4年11月4日～5日(3回公演) 入場者550名</p> <p>4 「いそご文化資源発掘隊」を5回、「こども文化資源発掘隊」を1回開催しました。さらに、本牧地区センターからの依頼で、「出前講座」を1回開催しました。また、「杉劇☆歌劇団」のワークショップを開催し、本公演を「杉劇にこにこ冬まつりステージ」として開催しました。</p> <p>■いそご文化資源発掘隊</p> <p>①第55回 「大岡川を歩く」旧かねさわ道～旧すぎた道 令和4年5月17日 参加者21名</p> <p>②第56回 文明開化を生きた歌人 大熊弁玉 令和4年9月15日 参加者65名</p> <p>③第57回 暗渠探索の楽しみ 令和4年11月7日、10日、11日 参加者66名</p> <p>④第58回 「赤い靴」と「青い目の人形」2つの童話がつなぐ横濱物語 令和4年11月24日 参加者41名</p> <p>⑤第59回 磯子に花街があった 令和5年3月15日 参加者230名</p> <p>■こども文化資源発掘隊2022 新杉田公園に行ってミツロウでロウソクを作ろう 令和4年8月4日 参加者6名</p> <p>■杉田劇場「いそご文化資源発掘隊」出前講座～知っているようで知らない横浜市歌の話～&まつわる四方山話アレコレ～〔協力企画〕 令和4年5月21日 参加者23名</p> <p>■「杉劇☆歌劇団」ワークショップ</p>
---	---

<p>5 様々なバックボーンのインターン・職業体験の受け入れ</p>	<p>令和4年8月5日～令和5年2月26日 参加者20名</p> <p>5 フェリス女学院大学から6名のインターンシップ実習生を受け入れました。施設の運営や事業制作に携わってもらい、アートマネジメント業務の現場を体験してもらいました。</p> <p>また、中学校の職業体験学習を5校・15名受け入れました。</p>
------------------------------------	---

ウ 使命3：地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げること
に貢献する。

◇◇文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場
になりたい

<p>【事業計画】</p> <p>1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります</p> <p>2 地域課題への「気づきの場」としての事業展開</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 0歳から楽しめる「ひよこ♪コンサート」を3回実施しました。そのうちの2回は、公募による若手演奏家により、プログラムの幅の拡大と若手奏者の出演機会の提供の機会ともなりました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大のため休止していた「ロビーパフォーマンス」は、感染拡大防止のため、参加者を保育園単位に限定して開催しました。</p> <p>■0歳からのちいさなコンサート</p> <p>①ひよこ♪コンサート Vol. 43 ～サマースペシャル～ 令和4年7月20日 入場者 266名(2回公演)</p> <p>②フレッシュ ひよこ♪コンサート Vol. 44 ～“からふるぽっけ”と秋みっけ！～” 令和4年11月17日 入場者 160名(2回公演)</p> <p>③フレッシュ ひよこ♪コンサート Vol. 45～コッコ・クインテットの冬休み～” 令和4年12月20日 入場者 106名(2回公演)</p> <p>■ロビーパフォーマンス 令和4年4月21日～令和5年3月23日 延べ参加者 539名(12回実施)</p> <p>2 区内の小学校の活動の幅を広げるサポートとして区内の小学校校長会との連携を深め、「スピーチコンテスト」に会場提供をしました。</p> <p>■磯子区よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 令和4年6月30日開催 来場者 80名</p> <p>■学校連携(前掲。根岸中学校音楽部の収録のため会場を提供) 令和4年7月25日 参加者 15名</p>
---	---

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源（文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的commonsの形成に貢献する。

<p>【事業計画】</p> <p>文化的commonsを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>芸術文化のプログラムを通じて、地域の小中学校や商店街、町をつなぐ企画として、「つながる杉田～みんなで花火！～(前掲)」と「杉田@賑わい会バックステージツアー(前掲)」を開催するとともに、「ロビーパフォーマンス(前掲)」や「いそご文化資源発掘隊(前掲)」では「出前企画」を開催し、地域の色々な場所で文化体験できる機会を提供しました。</p>
--	--

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

◇◇「今日は何をやっているのかな?」「誰かいるかな?」声を掛け合うみんなの広場になります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
<p>1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします</p>	<p>1 来館しなくてもコンビニで発券できるwebサイトでのチケット販売システムを、主催公演だけでなく、共催公演等にも拡大し、利用者の利便性向上とともに、感染拡大防止策としても活用しました。</p>
<p>2 ユニバーサルデザインの7原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります</p>	<p>2 多様な来館者に配慮した掲示や受付での案内に努めたほか、施設webサイトについて横浜市のウェブアクセシビリティ方針に合致したものに更新するための準備・検討を開始しました(サイトの改修実施は今期の指定管理期間内に完了予定)。</p>
<p>3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります</p>	<p>3 施設の利用が、質が高く多岐にわたった内容・形態となるように、多様な団体の利用を優先予約数の制限範囲内で受け入れました。 また、利用団体向けのオープンフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、今年度も実施を見合わせました。</p>
<p>4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます</p>	<p>4 貸館利用率は、全室場の平均で66%となり、目標値とした70%には届きませんでした。施設全体としては、新型コロナの影響からは、徐々に脱しつつあるものの、会議室の(特に夜間区分の)利用が回復しないことによる影響が大となっています。 ホール 78%/ギャラリー 78%/リハーサル室 62% 会議室A 46%/会議室B 43%/会議室C 44% 練習室A 91%/会議室B 96%/会議室C 76% 利用者懇談会 令和5年3月28日に開催予定していましたが、参加希望者が集まらず中止。</p>
<p>5 施設利用に関わる個人情報の保護</p>	<p>5 今年度は個人情報に関する事故は発生しなかったものの、送物の宛先間違いが1件発生したため、繰り返し研修や講義を実施するとともに、再発防止策を徹底していました。</p>

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

◇◇様々な人が訪れ 集い 憩う場所として安全・安心・快適な場であり続ける

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
<p>1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施</p>	<p>1 経年劣化等による日常的な部品交換や小破修繕を積極的に実施するとともに、ビル管理組合共益費の3か月分の減免が実施されたため、4階・5階の天井照明のLED化や照明設備の予防保全を実施しました。</p>
<p>2 利用者に安心快適な日常における保守管理</p>	<p>2 日々の確認や巡回作業、また12条点検や消防設備点検などを定期的の実施し、ビル管理会社・防災センター等とも連携して安心・安全な施設運営に努めました。施設の管理瑕疵や、スタッフのミスに起因する事故の発生をゼロとしました。</p>
<p>3 保守管理業務における委託業者について</p>	<p>3 業務の基準に沿った保守点検を実施しました。</p>
<p>4 適切な修理・改善対応の実施</p>	<p>4 施設の機能が阻害され、利用中止となるような事案は、都度の修理・修繕等の実施により、発生しませんでした。</p> <p>施設の予算内では実施困難な修繕についても、不具合状況を定期的に報告することなどにより、リハーサル室ピアノのオーバーホールの実施に繋がりました。</p> <p>他方で、新型コロナの影響や交換部品の廃盤・払底等により、即時の修繕・機器交換ができない部分については、施設スタッフによる日々の点検・確認などによる安全確保を行っています。</p>
<p>5 感染症対策等衛生管理</p>	<p>5 横浜市の「ガイドライン」の随時の更新に応じて、施設の制限や対応状況などを積極的に案内・発信していきました。</p>

(2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

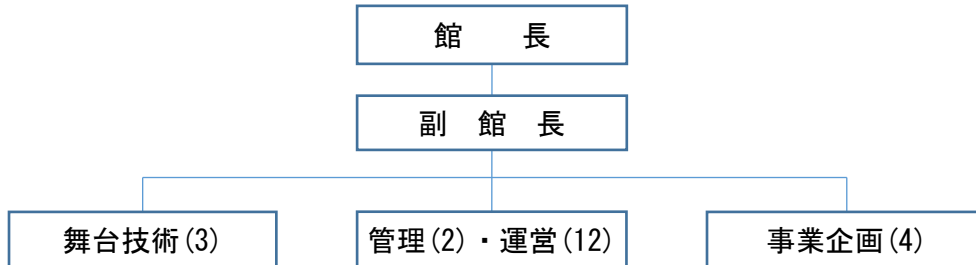
【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営を行います。	1 共同事業体 4 者が一丸となり、それぞれの持つノウハウや専門スキル、地域や団体などとのネットワークを活用し、円滑な施設運営を行いました。
2 各団体が業務を分担し、適切に人材を配置し、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制をとります	2 共同事業体で密接な連携を行い、新型コロナの感染者・濃厚接触者の発生があったものの、施設運営に支障をきたさない人員体制を維持しました。
3 施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します	3 通常の施設利用に関するニーズやトレンドに加えて、横浜市の「ガイドライン」や県のチェックリスト、各種業界団体の「ガイドライン」を踏まえ運用を定め、それらを施設利用者・来館者にわかりやすく案内・説明することで、目立った事故やクレーム等は発生しませんでした。

イ 必要人材の配置及び能力担保

1. 共同事業体の構成

財団（館長・副館長）／NPO 法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／
（有）アイコニクス（舞台）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）

2. 人員体制



役職・担当		所属
館長		財団
副館長		財団
舞台	照明	アイコニクス
舞台	音響	アイコニクス
舞台	舞台	アイコニクス
管理	経理・労務	チーム杉劇
管理（補助）	庶務等	チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営		アイコニクス
運営（コンシェルジュ）		11名 チーム杉劇（パート）

※清掃、設備保守、管理のニックスサービススタッフは常駐しない。

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。

【実施内容と達成状況】

■人材の配置は以下の通りとしました。（令和4年度末時点）

館長：1名

副館長：1名

事業企画スタッフ：4名

施設管理スタッフ：2名（臨時職員含む）

運営：1名（アイコニクス所属のスタッフで、事務室シフトにも加わる）

運営（コンシェルジュ）：11名

舞台技術スタッフ：3名

- 設備管理を担当するニックスサービスは、開館前や施設点検日、夜間停電対応など中心に、建物管理や清掃業務に当たりました。
- 区民主体のNPO法人チーム杉劇理事会の運営方針に則り、財団事務局とも連携して、安定した体制で運営を行いました。

(3) 管理について

ア 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

【事業計画】

「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。

【実施内容と達成状況】

■事故・防犯に対する取組

こども、高齢者、障がい者、外国人を含むあらゆる人の利用を想定し、火災や地震など事象ごとの対応を定めた「緊急時対応マニュアル」を整備し全体研修等でスタッフに共有するとともに、必要に応じて更新を検討しています。

■スタッフ全体研修

令和4年5月10日、令和5年1月10日実施

ホール利用者には、打合せ時に「避難誘導についての手引き」「感染拡大防止のための案内」を配布し、緊急時等の対応を確認するとともに、横浜市の「ガイドライン」、神奈川県「チェックリスト」に沿った感染拡大防止策の説明と、各対応の徹底を確認しました。

職員は始業前点検として開館前に各部屋を巡回し、設備の損傷確認と不審物等の確認を行います。

また、閉館前(終業時)にも巡回・確認し、防災管理自主検査票に記録しました。

また、地震の発生後や、風水害の前後などには、利用者および各室場の確認を徹底しました。

舞台に関わる事故を防止するため、舞台スタッフによる設備点検を徹底するほか、利用者に対して利用時の注意喚起を行いました。

また、舞台機構操作ならびに照明機材の吊込み等、危険を伴う作業については必ず舞台スタッフが行うか、舞台スタッフ立ち合いの元で専門知識のある人員による

	<p>操作を徹底しました。</p> <p>全体研修の際に、「火災」と「地震」それぞれの発生時の対応を座学での確認と意見交換・質疑応答の場を設けるとともに、避難の際の誘導経路を施設各所を実際に回って確認しました。</p> <p>普通救命講習をスタッフ2名が受講しました(前掲)。施設内にはAED1台を常備しています。</p> <p>緊急事態や事故の発生時は、所定の手順に沿った施設内での報告・連絡フローを順守し、緊急連絡網に沿った区役所を含む関係各所への連絡と対応を実行しました。</p> <p>認知症状の見られる高齢者や様々な事情を抱える方が長時間滞在することもあり、関係各所と連携・協力する体制を構築しています。実際に、磯子警察署への連絡・相談等を行った事例もあり、早期の対応を徹底しました。</p>
--	---

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>【事業計画】</p> <p>新型コロナウイルスの影響で縮小した施設利用に対する需要を喚起するため、積極的な情報発信や丁寧な利用案内をしていきます。</p> <p>利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次世代育成を目的とし既存の割引制度に加え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置(特別料金設定)を実施します。</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>年度前半は、新型コロナが継続していたものの、後半にはの感染が収まりませんでした。年度後半には利用者のマインドも変化を見せはじめたため、ホールの利用状況にも回復の兆しがあり、通年での利用料金収入は予算額を上回りました。</p> <p>他方で、「ガイドライン」による制限がつづいたため、施設利用に関しての新たな取り組みができませんでした。</p>
--	--

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 利用料金を増やすために平日利用を増やします。	1 ホール平日利用の取り組みとして学校等を対象とした、特別設定の料金での施設貸出ルールを検討しましたが、学校側の活動制限が完全には解除されず、制度のスタートには至りませんでした。
2 チケット収入を増やします。	2 チケット販売促進のため、web・SNSでの情報発信を強化することで、コロナ禍でのチケット売上の低下に歯止めがかかりました。
3 助成金・協賛金・広告収入を増やします。	3 「杉劇ひばりの日2022」や「杉劇にこにこ冬まつりステージ」などで、昨年度を上回る協賛を得られました。 また、「野村道子プロデュース 朗読歌劇「椿姫」～不滅の恋～」では、文化庁 子供文化芸術活動支援事業助成、「杉劇夏まつり」では、横浜市 地域の文化芸術活性化支援事業、「杉劇アートdeにこにこプロジェクト」では、地域の文化・芸術活動助成事業 創造プログラムの助成を得て実施しました。 また、「横浜音祭り2022共催 硬派弦楽アンサンブル石田組」では、横浜音祭り2022 横浜市関連施設補助金の採択を受けていましたが、チケット収入が申請時の想定を上回ったため、助成金収入はありませんでした。

(3) 経費削減等効率的運営の努力

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 業務の効率化	1 新型コロナに関連して、イレギュラーな対応が求められることも多く、また、陽性や濃厚接触の疑い、ワクチンの接種や副反応など、急な人員調整の必要が発生しても支障がでないように、業務のバランスや情報の共有を進めて、年間を通じて安定した施設運営を行いました。
2 人材の効率的活用	2 4者共同事業体の中で連携を強化し、事務室スタッフ・舞台スタッフ・受付スタッフが相互の業務を把握してカバーしあえる体制を維持しました。
3 年間の事業収支バランス	3 光熱水費が、対予算で 1.6 倍以上の大幅な高騰となり、施設単独では収支を均衡させることが困難な状況となりましたが、横浜市からの補填等により、事業収支バランスは収支均衡の状況となりました。
4 エコ活動の推進	4 産廃ゴミ分別の徹底し、特に、古紙リサイクルについては、より徹底して行いました。